

No. J01	まっちゃん	年月日	令和5年6月13日(火)
---------	-------	-----	--------------

## 設問

[問い1] 今だったらどんな質問ができるか

- 1、旦那さんのお母様について大塚さんはどのようなことを思われておりますでしょうか？
- 2、どうして今までおかあさんのお世話をがんばってこられたかお伺いできますか？
- 3、お母さんが現在の住まいに残ると仰っていた時、大塚さんはどのように思われましたか？
- 4、今は話されていないとのことですが、以前は旦那さんと異動について話されていたのでしょうか？
- 5、今のお仕事を諦めたくないと思われるのは、どうしてなのか教えていただけますか？
- 6、差し支えなければ、お母さんは大塚さんにとってどのような存在であるのか教えて頂けますか？

[問い2] 良かった点と悪かった点 (各2行)

事例Ⅰの CCt8 (相応しい・相応しくない)

(良) 仕事をやめなければいけないという相談者の感情を受容し、傾聴を行うことで、相談者の仕事について楽しくなってきたという感情が表れた為、信頼関係が築けてきたと思われるという点。

事例Ⅱの CCt9 (相応しい・相応しくない)

(悪) 主人について行かず、今の自宅に残りたいと言った義母について、相談者がどのような感情を抱いているのか、また、相談者にとって義母はどういった存在なのかについて聴くことができなかった。

「問い3」クライアントの主訴  
CC視点の問題

CC視点の問題は、CLが現状主人に対して、今の仕事をこれからも続けていきたいと考えている思いも含めて夫に話せていないという状況である。そのため、夫とのコミュニケーション不足があると思われる。また、今の仕事が楽しく続けたいと思っている状態であるが、夫の転勤となると義母のことも考えてしまい、決断ができていないということが面談の中で見受けられるため、自身の今後のキャリアを形成していく上で、大切にしたい価値観の理解も不足している可能性が存在すると思われる。

[問い4] 今後の展開 (どのように進めるか)

今の仕事を続けたいが、主人に自身の気持ちを伝えられていない相談者の感情を丁寧に傾聴し、前向きに今後のキャリアについて検討できるよう促す。その上で、義母に対する相談者の思いも受容し、お伺いしながら、義母や夫と異動について話し合うことを提案し、相互理解を深めてもらう。また、これまでのアパレル会社における経験の棚卸しと夫と義母に対する感情の整理を行って頂き、家庭内と仕事両方のキャリアについての理解を促す。それらを踏まえて自身のありたい姿をより明確にしてもらう。以上により、相談者が主体的に今後のキャリアについて意思決定できるよう支援していく。